

逢初川土石流の発生原因調査報告書 正誤表

箇所	誤					正				
第3章 地形・地質の詳細と盛り土履歴 3.3 盛り土履歴調査 3.3.1 調査方法 P 3-12 ※2025年12月1日訂正	表 3-1 解析に用いた空中写真等と結果概要					表 3-1 解析に用いた空中写真等と結果概要				
	時期	撮影機関種類 (縮尺)	標高データ	オルソ画像	備考	時期	撮影機関種類 (縮尺)	標高データ	オルソ画像	備考
	1967年10月12日	国土地理院モノクロ写真(20,000分の1)	DSM	○	全体に植生が少なく DSM ではあるが地形が比較的判読しやすい。	1967年10月12日	国土地理院モノクロ写真(20,000分の1)	DSM	○	全体に植生が少なく DSM ではあるが地形が比較的判読しやすい。
	1976年11月6日	国土地理院カラー写真(10,000分の1)	DSM	○	崩落地の地形改変はほぼ認められない。	1976年11月25日	国土地理院カラー写真(10,000分の1)	DSM	○	崩落地の地形改変はほぼ認められない。
	1999年12月7日	国土地理院カラー写真(30,000分の1)	DSM	○	崩落地の地形改変はほぼ認められない。樹木等が成長し DSM での地形判読は困難。	1999年12月7日	国土地理院カラー写真(30,000分の1)	DSM	○	崩落地の地形改変はほぼ認められない。樹木等が成長し DSM での地形判読は困難。
	2002年1月23日	静岡県砂防基盤図	DEM	○	等高線から DEM を作成。 崩落地の地形改変はほぼ認められない。	2002年1月23日	静岡県砂防基盤図	DEM	○	等高線から DEM を作成。 崩落地の地形改変はほぼ認められない。
	2005年1月8日	国土地理院カラー写真(20,000分の1)	DSM	○	崩落地の地形改変はほぼ認められない。 崩落地北側の造成が始まっている。	2005年11月8日	国土地理院カラー写真(20,000分の1)	DSM	○	崩落地の地形改変はほぼ認められない。 崩落地北側の造成が始まっている。
	2009年6月27日	国土交通省航空レーザ計測	DEM	○	私道上部が埋め立てられた。崩落地の盛り土が始まっている。 北側造成地の地形変更はほぼ完了。	2009年6月27日	国土交通省航空レーザ計測	DEM	○	私道上部が埋め立てられた。崩落地の盛り土が始まっている。 北側造成地の地形変更はほぼ完了。
	2012年12月11日	国土地理院カラー写真(10,000分の1)	DSM	○	崩落地の谷底に小段を伴う盛り土が形成された。	2012年12月11日	国土地理院カラー写真(10,000分の1)	DSM	○	崩落地の谷底に小段を伴う盛り土が形成された。
	2017年8月9日	国土地理院カラー写真(10,000分の1)	DSM	○	崩落地上部の私道上に小規模な盛り土。 南側の尾根にソーラー発電所敷地。	2017年8月9日	国土地理院カラー写真(10,000分の1)	DSM	○	崩落地上部の私道上に小規模な盛り土。 南側の尾根にソーラー発電所敷地。
	2019年12月11日	静岡県航空レーザ計測	DEM	○	2017年から大きな地形改変は認められない。逢初川を埋めた盛り土の最下部では小規模な盛り土の崩落が認められる。	2019年12月11日	静岡県航空レーザ計測	DEM	○	2017年から大きな地形改変は認められない。逢初川を埋めた盛り土の最下部では小規模な盛り土の崩落が認められる。
	注：このほか、1983年・1989年・1994年にも空中写真が撮影されているが、1999年までは崩落箇所付近における積極的な地形改変は行われていない。また熱海市の都市計画図もあるが等高線間隔が広い等により、解析には適さなかった。					注：このほか、1983年・1989年・1994年にも空中写真が撮影されているが、1999年までは崩落箇所付近における積極的な地形改変は行われていない。また熱海市の都市計画図もあるが等高線間隔が広い等により、解析には適さなかった。				